【団体名】西三河野生生物研究会

【事業名】「夏休み親子教室２０１６」

【事業内容】夏休み親子学習会

　　７月３０日(土) ・３１日（日）、６年目を迎える夏休み親子学習会を「夏休み親子学習会２０１６」として開催した。会場は昨年度に続いて安城市民交流センター２階ホールにて、以上のような講座・展示などを行った。

講座第1日目７月３０日（土）

講座１－１ １０：３０～

「カメってどんな生きもの？～安城のカメから考える～」

矢部隆先生（愛知学泉大学教授）

第1 部：市民交流センターから参加の親子約30 人ほどが大池公園まで出かけて、前日に矢部先生が仕掛けたワナに入ったカメを採集・観察した。ワナに入ったカメ以外の生き物についても解説した。

第2 部：センター2F に戻り、観察したカメたちについて、矢部先生が種類や特徴を解説し、安城のカメたちがどんな生活をしているかを学習した。カメ類の行動や生態・進化、生物多様性などカメに関わる最近の話題についても学ぶ機会になった。

講座１－２ １３：００～

「ゾウリムシの飼い方・観察の仕方」

青木舜先生（本研究会幹事）

不思議な生き物ゾウリムシ。その体のつくりや採集の方法、ふやし方などを説明した。青木先生が大量に培養したものを、参加者で顕微鏡で観察しながら、デジカメで顕微鏡写真を撮影する方法なども実習した。

講座１－３ １４：００～

「昆虫の話・昆虫入門ガイド－昆虫に親しもう－」

大平仁夫先生（研究会顧問・三河昆虫研究会･会長）

山崎隆弘先生（研究会幹事・三河昆虫研究会・副会長）

昆虫は種類が多く、地球は「昆虫の惑星」といわれるほど。虫たちがくり広げる生き残り作戦や天敵とのかけひきなどを、コメツキムシ分類権威の大平博士が、昆虫たちの不思議な世界についてお話いただきました。昆虫研究家の山崎先生が、会場にたくさん展示された昆虫類の標本を説明し、実物を間近で見る機会になった。特に外国産の大きなカブトムシや、青く輝くモルフォチョウなどの美しさに、参加者は目を見張っていた。一方で、愛知県三河地方に棲んでいる身近な昆虫類の標本では、自然を観察する具体的な方法と併せて解説した。

講座１－４ １５：００～

「植物標本のつくり方」

堀田喜久先生（本研究会副会長・愛知植物の会顧問）

身近な植物を観察したり、そのいろいろな特徴を調べるときは、その植物の標本を作るのもよい方法です。植物標本の作り方を教えてもらい、この夏は植物博士になりましょう。

講座１－５ １６：００～

「子どもの自然体験とその後の学習」１ 保護者向け特別講演

金森正臣先生（愛知教育大学名誉教授）

生涯にわたって使える能力や知恵とは。子どもたちが生き物や自然の上で学ぶことで、獲得していく力について保護者の皆さんと一緒に考えます。

講座第２日目７月３１日（日）

講座２－１ １０：００～

「セミの抜けがらからわかる都市環境」

金田吉高先生（本研究会幹事・三河昆虫研究会）

夏の代表的な生き物のひとつセミ。でも知っていますか？

セミは種類で好む環境がちがいます。セミの抜けがらから、いろいろなことがわかります。セミの抜けがらの見分け方を、実物を使って実習します。この夏休みはセミを研究してみませんか？

講座２－２ １１：００～

「安城市でとれる魚類の区別の仕方と魚の形」●定員：20組

今泉久祥先生（本研究会幹事）

安城市内の川や水路などで、採集できる魚類の見分け方を、魚の形とともに教えていただけます。実際の魚で分け方を学びます。観察した魚は持ち帰りもできますよ。※持ち帰りを希望する方は入れ物をご用意ください。

講座２－３ １３：００～

「真珠貝の観察と真珠の取り出し体験」●定員：20 組

今泉久祥先生（本研究会幹事）

本物の真珠貝（アコヤガイ）で、二枚貝の体の仕組みを観察して、真珠ができるしくみを学習したり、実際に真珠の採り出し体験をしたりします。取り出した真珠の持ち帰りもできます。

講座２－４ １４：００～

「子どもの自然体験とその後の学習」２ 保護者向け特別講演

金森正臣先生（愛知教育大学名誉教授） ●定員：30人

生涯にわたって使える能力や知恵とは。子どもたちが生き物や自然の上で学ぶことで、獲得していく力について保護者の皆さんと一緒に考えます。

講座２－５ １５：００～

「楽しい！キモい？身近な光る生き物を調べてみよう！」

大場裕一先生（中部大学准教授） ●定員：30人

光る生き物は、意外に身近なところにもいるんです。それらを実際につまえて光らせる方法を、発光生物の専門家が伝授します。ちょっとキモいあの生き物だって、光るんだったら興味がわいてくるはず？講座以外にも次のような展示やコーナーを開設した。

○「スライドショー安城の野鳥」

野鳥の生態写真で有名な杉山時雄先生が作成した、「安城で見られる野鳥」のスライドショーを上映した。

○「生き物ペーパークラフト」

ペーパークラフトは昨年度までの昆虫と珪藻に加えて、水生生物やウサギなどが新しく加わって、楽しさが増えた。完成すればとてもかわいらしく、特徴をよく表した造形物になる。持ち帰りができ、人気であった。

○生態写真の展示コーナー

いろいろな生き物の生態写真を展示しました。青木先生の水生昆虫、緒方清人副会長や杉山時雄さんのクモやフクロウの生態写真も展示しました。

○世界の昆虫身近な昆虫

今年も大平先生や山崎さん、金田さんのコレクションから、大型ドイツ標本箱で約30箱を展示した。美しいミイロタテハやオオルリアゲハ・トリバネアゲハなど美麗な蝶類、大型のアトラスカブトムシやテイオウゼミをはじめ、身近に生息する昆虫類などの標本を展示した。

【成果・課題】

本年度は市民交流センターとも連絡を取りながら、「安城七夕」や小・中学校の安城選手権（水泳大会）など、大きな行事と重なることを避けて、日程を設定した。結果として、昨年度より来場者を増やすことができた。

アンケートからわかるように、参加者の半数強が小学生で、残り半数がその保護者と考えられる大人であった。小学１～３年生の割合はおよそ８割程度を占めている。一方で中学生はまったく参加がなく、次年度からは中学校には案内を出さなくてもよいか。

本年度も市民交流センターから配慮いただき、各小中学校が夏休みに入る直前に、案内文書を安城市教育委員会の文書配付ルートで市内各小中学校へ配付することができた。今回は、昨年度より早期に講座内容を決定したので、より情宣が円滑に行えた。今回は一部の講座については、担当とも相談して参加人数に定員を設定した。材料などの準備する数にも見通しができてよかった。